

○氏邸新築工事 公募型プロポーザル講評

判定委員会 平成 29 年 4 月 17 日

今回のプロポーザルは依頼者がこれから長く付き合っていける信頼のおける設計者を選ぶことが第一の目的でありました。プロポーザルとは言いながら、提案設計図を求めたのも提案者の考えを評価する上で必要と考えたからです。

依頼者の要求事項を文書にしたためて一方通行でお示ししたことも、本来設計者と協議しながら設計を進める原則の中では、プレゼンに困難を生じさせたものと推察いたします。4社の技術提案書はいみじくも2つに分かれた提案が出てきました。あの南北の狭小敷地条件に一方は依頼者の要求に素直に出来るだけ忠実にこたえようとしたもの、一方は都市住宅のありかたを理念として建築的答えを出しその上で要求にこたえようとしたものでした。

判定委員会もその中で賛否議論があり、それぞれが自らの信念のもとに提案書が作られており住宅とは何かを考えさせられました。一方で依頼者は一生で一番大きな買い物を一設計者に委ねることであり困難な審査でした。住宅の設計は何度も打ち合わせを重ね希望に沿った計画になっていくものだと、依頼者を含めた各委員の共通認識を持ちながら、技術提案書とヒアリングの2次審査会等議論を重ねて以下の決定をいたしました。

当選案 ㈱構建築設計事務所 代表者 徳田 伸治 担当者 永野 ますみ

評価項目	鈴木弘人設計事務所	構建築設計事務所	都市建築設計集団	鎌田建築設計事務所
建築的評価	歴史的町の考察や南北敷地の狭さ等考慮した計画となっている	町家の考えや空間生活スタイルの考えにわくわく感が感じられる	建築的哲学と考察は素晴らしく評価大、スロープはコルビジェ連想	町家の地域的考察、狭小地に対しての開口部の取り方等再考
土地利用計画	東西の庭に対してもう少し開口部を取り開放性があると良い	東西に庭を残した計画は町家の狭小地の回答のひとつだが開放性無	吹抜テラス等多用して第5案まで進化させた利用計画は優れている	インナーテラスから吹き抜けに対しての開放性隣地との関係に難有
予定工事費の実現性	吹抜やテラスが多く施工面積は大きい希望予算オーバーが心配	無駄なスペースが少なく面積的にも予算も希望内で可能と説明	面積は 69.46 坪と希望以下だが吹抜テラス等予算オーバーが心配	全体予算まで提示があり依頼者の予算に収まると説明
要望事項満足度	希望に沿った部分と満たしていない部分ある	希望に沿った部分と満たしていない部分ある	希望に沿った部分と満たしていない部分ある	希望に沿った部分と満たしていない部分ある
周辺環境との調和	敷地の南北の狭さのためトップライトの多用で開放性を犠牲にしている	一番大きな中庭に面してスリットな開口部しか作らなかったのは周辺との調和無	隣家の状況を模型まで造り説明高い評価しかしこの敷地に対しては無理があると意見多い	隣地との関係において開口部の高さや大きさ位置等考慮不足
当選案		○		